



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 ウェルス・マネジメント株式会社

上場取引所 東

コード番号 3772 URL <https://www.wealth-mngt.com>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）千野 和俊

問合せ先責任者 （役職名）執行役員企画部長 （氏名）村松 慎太郎

TEL 03-6229-2129

半期報告書提出予定日 2025年11月10日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,978	3.7	△1,367	—	△1,908	—	△1,404	—
2025年3月期中間期	5,765	84.8	△364	—	△1,054	—	△487	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △1,404百万円（－％） 2025年3月期中間期 △487百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△73.24	—
2025年3月期中間期	△25.45	—

（注）2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	58,150	17,445	30.0
2025年3月期	62,102	19,398	31.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 17,445百万円 2025年3月期 19,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2026年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	29,000	58.4	4,500	78.6	3,500	233.7	2,500	126.7	130.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）京都妙法ホテルオペレーションズ株式会社、 除外 ー社

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更に関する注記）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	19,179,800株	2025年3月期	19,179,800株
2026年3月期中間期	1,278株	2025年3月期	1,278株
2026年3月期中間期	19,178,522株	2025年3月期中間期	19,143,302株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、2025年11月中旬に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が見られました。一方、ウクライナ危機や歴史的な円安の進行、これに伴う原材料やエネルギー価格の値上げ圧力にさらされるなど、依然として先行きは不透明な懸念はあるものの、訪日外客の消費拡大、様々な業界における賃上げの広がり等の好材料もでてきております。

当社グループにおきましては、大阪・関西万博の開催を背景とした訪日・国内旅行需要の高まりにより、大阪所在の2ホテルの売上高が堅調に推移した結果、ホテル運営事業の売上高、利益は前年同期を上回りました。アセットマネジメント事業及び不動産事業においては、継続的に毎月計上されるアセットマネジメント報酬は増加したものの、大型物件売却がなかったことにより前年同期と比較して売上高、利益が下回る結果となりました。

この結果、当中間連結会計期間は、売上高5,978,579千円（前年同期比3.7%増）、営業損失1,367,617千円（前年同期は営業損失364,805千円）、経常損失1,908,804千円（前年同期は経常損失1,054,633千円）、法人税等調整額△678,641千円を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失1,404,689千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失487,233千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

セグメント		前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	増減率
		金額（千円）	金額（千円）	(%)
ホテル運営事業	売上高	3,180,476	5,336,666	67.8
	営業利益	△22,068	1,308,335	—
アセットマネジメント事業	売上高	1,561,847	327,077	△79.1
	営業利益	1,130,048	△180,344	—
不動産事業	売上高	1,070,562	399,684	△62.7
	営業利益	△1,006,412	△2,064,182	—

(注) 1. セグメント間取引は相殺消去しておりません。

2. 増減率について、当中間期・前年同中間期の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「—」と記載しております。

(ホテル運営事業)

ホテル運営事業が属するホテル業界におきましては、インバウンドの大幅な増加等により、宿泊客は大幅に増加しております。日本政府観光局(JNTO)公表の訪日外客数(2025年9月推計値)によりますと、9月の訪日外客数は前年同月比では13.7%増となり、9月として過去最高を更新するとともに、9月までの累計では過去最速で3,000万人を突破しました。

当社グループにおきましては、2024年にグランドオープンいたしました「シックスセンス 京都」、「バンヤンツリー・東山 京都」の稼働が前年に比べ安定的な水準へ推移していることや、大阪・関西万博の訪日・国内旅行客の取り込みもあり、ホテル運営事業の売上高、利益とも前年同期を上回りました。

運営ホテル売上の推移

（単位：千円）

		運営ホテル売上	対前年同期増減率
前第1四半期	（自2024年4月1日～ 至2024年6月30日）	1,688,233	12.6%
前第2四半期	（自2024年7月1日～ 至2024年9月30日）	1,486,391	6.4%
前第3四半期	（自2024年10月1日～ 至2024年12月31日）	2,612,180	45.2%
前第4四半期	（自2025年1月1日～ 至2025年3月31日）	2,062,546	40.8%
当第1四半期	（自2025年4月1日～ 至2025年6月30日）	3,242,475	92.1%
当第2四半期	（自2025年7月1日～ 至2025年9月30日）	2,058,631	38.5%

- （注） 1. 運営ホテル売上高は、当社グループが運営しているホテルの管理会計上の売上高を合算したものであり、ホテル運営事業の売上高とは一致いたしません。
2. セグメント間取引は相殺消去しておりません。

（アセットマネジメント事業、不動産事業）

アセットマネジメント事業及び不動産事業が属する不動産市場におきましては、物価高騰によるコスト増及び人手不足による工事の遅延等の懸念はあるものの、大阪・関西万博需要に伴い、ホテル開発事業に対し、投資家及び金融機関からの投資や融資について積極的な姿勢は継続しております。

当社グループにおきましては、継続的に毎月計上されるアセットマネジメント報酬は増加したものの、大型物件売却がなかったことにより前年同期と比較して売上高、利益が下回る結果となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における財政状態については、総資産58,150,728千円、負債40,705,017千円、純資産17,445,711千円となりました。

総資産については、前連結会計年度末に比べ、3,951,688千円減少となりました。これは主に、投資有価証券及び繰延税金資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ、1,998,404千円減少となりました。これは主に、匿名組合出資預り金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ、1,953,283千円減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表しました2026年3月期の連結業績予想（通期）から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,408,357	4,453,939
売掛金	1,146,388	1,047,442
販売用不動産	19,172,804	19,256,527
仕掛販売用不動産	22,691,504	22,721,619
未収還付法人税等	678,855	19,705
その他	599,418	1,223,994
流動資産合計	53,697,329	48,723,229
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,471,475	1,579,656
減価償却累計額	△55,603	△98,716
建物（純額）	1,415,871	1,480,939
構築物	—	40,000
減価償却累計額	—	△856
構築物（純額）	—	39,143
車両運搬具	—	8,988
減価償却累計額	—	△125
車両運搬具（純額）	—	8,863
工具、器具及び備品	366,918	451,808
減価償却累計額	△127,584	△163,184
工具、器具及び備品（純額）	239,334	288,623
土地	260,502	270,586
建設仮勘定	104,815	—
有形固定資産合計	2,020,524	2,088,157
無形固定資産		
のれん	305,317	235,740
その他	62,489	153,650
無形固定資産合計	367,806	389,390
投資その他の資産		
投資有価証券	3,748,981	4,072,068
繰延税金資産	462,542	1,074,678
その他	1,805,233	1,803,204
投資その他の資産合計	6,016,757	6,949,951
固定資産合計	8,405,088	9,427,499
資産合計	62,102,417	58,150,728

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,406	176,301
短期借入金	719,962	1,081,866
1年内返済予定の長期借入金	2,763,922	13,989,604
未払法人税等	510,524	189,035
賞与引当金	205,017	227,231
株主優待引当金	64,000	102,000
その他	2,815,249	2,604,418
流動負債合計	7,237,082	18,370,456
固定負債		
長期借入金	23,849,462	12,195,915
ノンリコース長期借入金	3,000,000	3,000,000
株式報酬引当金	138,889	144,555
匿名組合出資預り金	7,707,000	6,280,000
繰延税金負債	144,360	—
その他	626,628	714,090
固定負債合計	35,466,340	22,334,561
負債合計	42,703,422	40,705,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,356,395	2,356,395
新株式申込証拠金	—	3,000
資本剰余金	1,780,027	1,613,423
利益剰余金	15,262,187	13,473,927
自己株式	△1,035	△1,035
株主資本合計	19,397,574	17,445,711
新株予約権	1,420	—
純資産合計	19,398,994	17,445,711
負債純資産合計	62,102,417	58,150,728

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,765,973	5,978,579
売上原価	4,519,422	5,980,252
売上総利益又は売上総損失(△)	1,246,550	△1,673
販売費及び一般管理費	1,611,356	1,365,943
営業損失(△)	△364,805	△1,367,617
営業外収益		
受取利息	813	5,943
受取配当金	89	96
利子補給金	3,818	1,748
その他	1,102	1,000
営業外収益合計	5,823	8,788
営業外費用		
支払利息	624,225	464,612
支払手数料	35,046	1,255
持分法による投資損失	387	47,394
その他	35,991	36,713
営業外費用合計	695,651	549,975
経常損失(△)	△1,054,633	△1,908,804
特別利益		
賃貸借契約解約益	419,398	—
特別利益合計	419,398	—
特別損失		
事務所移転費用	—	742
特別損失合計	—	742
税金等調整前中間純損失(△)	△635,234	△1,909,546
法人税、住民税及び事業税	96,487	173,783
法人税等調整額	△244,488	△678,641
法人税等合計	△148,001	△504,857
中間純損失(△)	△487,233	△1,404,689
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△487,233	△1,404,689

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純損失（△）	△487,233	△1,404,689
中間包括利益	△487,233	△1,404,689
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△487,233	△1,404,689
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△635,234	△1,909,546
減価償却費	56,799	96,293
のれん償却額	62,823	69,576
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,610	22,214
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△141,571	5,665
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	32,000	38,000
受取利息及び受取配当金	△902	△6,039
支払利息	624,225	464,612
支払手数料	35,046	1,255
持分法による投資損益 (△は益)	387	47,394
賃貸借契約解約益	△419,398	—
信託預金の増減額 (△は増加)	16,162	54,772
売上債権の増減額 (△は増加)	75,257	98,945
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△1,815,334	△83,722
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	△537,984	△30,114
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,468	41,882
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,520,624	△683,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	56,680	17,894
匿名組合出資預り金の増減額 (△は減少)	—	△1,427,000
その他の負債の増減額 (△は減少)	△88,413	3,739
その他	△169,387	37,588
小計	△4,287,389	△3,140,294
利息及び配当金の受取額	902	5,993
利息の支払額	△628,842	△455,760
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△100,070	200,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,015,399	△3,389,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△471,518	△267,833
無形固定資産の取得による支出	△28,752	△105,641
投資有価証券の償還による収入	550,000	—
投資有価証券の取得による支出	△2,643,300	△424,000
定期預金の預入による支出	△100,000	—
その他	△4,937	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,698,507	△794,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,461,670	361,904
長期借入れによる収入	2,096,745	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,222,094	△527,865
ノンリコース借入金の返済による支出	△376,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の追加取得による支出	—	△247,000
新株式申込証拠金の払込による収入	—	3,000
新株予約権の取得による支出	—	△1,420
配当金の支払額	△361,937	△382,774
担保に供した預金の増減額 (△は増加)	2,000,000	—
その他	58,435	△21,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	733,479	△715,199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,980,427	△4,899,645
現金及び現金同等物の期首残高	13,924,417	8,917,584
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,943,990	4,017,939

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（1）連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、当社の連結子会社であるワールド・ブランズ・コレクションホテルズ&リゾート株式会社が新設分割により設立した京都妙法ホテルオペレーションズ株式会社を連結の範囲に含めております。

（2）持分法適用の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、当社が新たに出資したエコーランド特定目的会社を持分法適用の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

（資産除去債務の計算方法に係る見積りの変更）

当中間連結会計期間において、新たな情報の入手により、事務所の退去時に必要とされる原状回復費用に関して一部見積りの変更を行いました。この変更は、原状回復費用の見積り額が、賃貸借契約に供託する敷金の額を上回ったことにより、賃貸借契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り当期の負担に属する金額を費用に計上する方法（以下、「簡便的な取扱い」という。）による処理が認められなくなったため、当該事務所について、当中間連結会計期間より原則的な取扱いによる処理に変更したものであります。

この結果、当中間連結会計期間の中間連結貸借対照表において、「固定資産」の「建物（純額）」は86,992千円、「固定負債」の「その他」は90,511千円、それぞれ増加しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	アセットマ ネジメント 事業	不動産事業	ホテル 運営事業	計			
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	1,340,690	5,016	3,172,374	4,518,081	4,518,081	—	4,518,081
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	174,244	—	5,625	179,869	179,869	—	179,869
顧客との契約から生じる 収益	1,514,934	5,016	3,177,999	4,697,950	4,697,950	—	4,697,950
その他の収益（注） 3	—	1,065,545	2,477	1,068,022	1,068,022	—	1,068,022
外部顧客への売上高	1,514,934	1,070,562	3,180,476	5,765,973	5,765,973	—	5,765,973
セグメント間の内部売上高又 は振替高	46,913	—	—	46,913	46,913	△46,913	—
計	1,561,847	1,070,562	3,180,476	5,812,886	5,812,886	△46,913	5,765,973
セグメント利益又は損失 (△)	1,130,048	△1,006,412	△22,068	101,568	101,568	△466,374	△364,805

（注） 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△466,374千円は、各報告セグメントに配分されない全
社収益及び全社費用の純額であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収
入及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」
（企業会計基準委員会 移管指針第10号）の対象となる不動産（不動産信託受益権を含む。）の
譲渡等が含まれております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	アセットマ ネジメント 事業	不動産事業	ホテル 運営事業	計			
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	42,299	52,701	5,298,407	5,393,408	5,393,408	—	5,393,408
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	227,114	39,192	8,100	274,407	274,407	—	274,407
顧客との契約から生じる 収益	269,414	91,893	5,306,507	5,667,815	5,667,815	—	5,667,815
その他の収益（注） 3	—	307,791	2,972	310,763	310,763	—	310,763
外部顧客への売上高	269,414	399,684	5,309,479	5,978,579	5,978,579	—	5,978,579
セグメント間の内部売上高又 は振替高	57,663	—	27,186	84,849	84,849	△84,849	—
計	327,077	399,684	5,336,666	6,063,428	6,063,428	△84,849	5,978,579
セグメント利益又は損失 (△)	△180,344	△2,064,182	1,308,335	△936,192	△936,192	△431,425	△1,367,617

（注） 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△431,425千円は、各報告セグメントに配分されない全
社収益及び全社費用の純額であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収
入及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」
（企業会計基準委員会 移管指針第10号）の対象となる不動産（不動産信託受益権を含む。）の
譲渡等が含まれております。